

# 公明党の提案により実現

介護老人保健施設

## “グリーンビレッジ蕨”完成

鉄筋造りの4階建て(一部5階)150床確保

痴呆や病気が原因で、介護が必要になったお年寄りを預かる介護保健施設のうち、老人保健施設が今まで市内にありませんでした。そのため、お年寄りを家庭で介護できな

い場合に、大変苦勞されて施設探しに奔走されておりました。そこで、蕨市公明党では平成15年3月28日、高齢者が安心して暮らせる施設の早期建設を求める署名運動を行い

ました。「老人保健施設の早期建設を求める署名」と題し、市民の皆様のご協力を頂き18170名の署名を集めることができました。皆様のこの厚い要望を市長(当時田中市長)に提出。陳情の結果、市では平成16年度に施設の建設に向けた調査費等が予算計上されました。平成17年度に法人選定委員会等において、用地を北町5丁目の市民プールの跡地に、施設整備事業者を医療法人社団・東光会戸田中央総合病院と選定され、去る3月29日に「グリーンビレッジ蕨」の竣工式が行われました。

4月1日より、開所となり市民の皆様・特にお年寄りを抱える家族の皆さんにとって大きな安心が得られることになりました。蕨市公明党としては、これからも「老人保健施設」の増設に対して、調査・研究を行ってまいります。



〈ご利用いただける方〉

- ① 満65歳以上(介護保険第1号被保険者)で、要介護1～5と認定された方
- ② 満40歳以上65歳未満(介護保険第2号被保険者)で、要介護1～5と認定された方
- ③ 短期入所療養介護(ショートステイ)と通所リハビリテーション(デイケア)は、要支援1.2の方もご利用いただけます。



発行  
戸田総支部  
蕨支部  
2008年4月



市議会議員  
松本 徹  
☎ 446-2093



市議会議員  
高橋 悦朗  
☎ 443-9110



市議会議員  
大石 幸一  
☎ 432-2450

## 蕨市議会

### 三月定例会

三月定例会が二月二十五日から三月二十一日までの二十六日間の日程で行いました。市長提出議案三十四件、委員会提出議案二件、議員提出議案四件、陳情一件について審議をしました。公明党蕨市議団は、平成二十年度予算に対して市民の皆様からの立場から、生活者優先の住みよい活力のある街づくりを目指して、代表質疑・一般質問において徹底的に論陣を張りましました。その後、討論・採決を行い閉会されました。

## 「妊産婦健康診査」

### 5回まで拡充の実現



「妊産婦健康診査」の拡充に際し、党員支持者の皆様の署名運動(8276名)のお陰で、今まで2回であった公費が、5回まで拡充致しました。

#### 「健診」の内訳

妊娠8週頃をめどに  
妊娠初期に1回(子宮頸がんを含む)  
妊娠中期に2回  
妊娠後期に2回

#### 「里帰り出産」にも対応

他市・他県で出産を希望される方の健診費用5回分に対しても、無料で健診が受けられます。

詳細は、蕨市保健センターにて確認をお願いします。



## 「乳幼児医療費」から

### 「こども医療費」に拡充

「乳幼児医療費支給事業」は蕨市公明党が、長い年月をかけて着実に実現してきた政策の一つです。平成15年4月に通院の対象年齢を入院と同様、小学校就学前まで拡充されました。平成15年9月に「未就学児の医療費完全無料化」の署名運動を実施し、18170名の方々の署名を頂くことが出来ました。それにより平成16年から「未就学児」に対して完全無料化となり、平成18年10月には窓口払いも廃止になりました。

その後、更なる拡充に向けての要望と交渉を続け、本年10月より、小学校3年生まで通院に対しては無料とし、入院に際しては、中学3年生まで無料拡充となりました。

【代表質疑】

松本 徹議員

- 【議案第21号平成20年度蕨市一般会計予算】  
— 歳入 —
- 〔1〕市税全般の積算内容と特に市税の減額理由について（個人分・法人分の内訳）並びに滞納対策事業内容について
- 〔2〕地方特例交付金の増額内容について
- 〔3〕地方交付税の積算根拠について
- 〔4〕財産収入の不動産売り払い収入の内容と今後の計画について
- 〔5〕繰入金、財政調整基金、職員退職手当基金、公施設改修基金の各々の減額内容と今後の計画について
- 〔6〕戸田競艇事業収入の減額理由について
- 〔7〕臨時財政対策債の積算根拠について  
— 歳出 —
- 〔総務費〕
- 〔1〕防犯対策事業の事業内容について
- 〔2〕電子入札事業の事業内容について
- 〔3〕行政評価制度研修事業の内容について
- 〔4〕総合行政情報化推進事業の事業内容について
- 〔5〕情報処理業務委託料の委託内容について
- 〔6〕市民活動調査研究委託料の委託内容について
- 〔7〕安全安心きれいなまちづくり事業補助金の費用対効果と積算根拠について
- 〔8〕交通安全施設整備事業の工事内容と事業計画について
- 〔9〕コミュニティバス運行事業の予算内容について
- 〔10〕滞納管理システム事業の内容について
- 〔民生費〕
- 〔1〕（障害者福祉費）施設管理費の指定管理者制度導入における効果並びに予算額の妥当性について
- 〔2〕福祉入浴サービス事業の積算根拠について
- 〔3〕紙おむつ給付費の事業内容について
- 〔4〕福祉連絡システム借上げ事業の内容について
- 〔5〕国民健康保険特別会計繰出金の積算内容と脳ドック健診事業の予算額と内容について
- 〔6〕後期高齢者医療事業の事業内容について
- 〔7〕ファミリーサポート事業の委託内容について
- 〔8〕こども医療給付費の積算内容について
- 〔9〕児童手当給付費の予算内容について
- 〔10〕母子家庭自立支援給付事業の事業内容について
- 〔11〕延長保育事業の拡充事業内容について
- 〔12〕生活保護扶助事業の積算内容について
- 〔衛生費〕
- 〔1〕保健衛生総務費の修繕料の予算内容について
- 〔2〕がん検診委託料の積算内容について
- 〔3〕妊婦一般健康診査委託事業の委託内容について
- 〔4〕環境調査委託料の委託内容について
- 〔労働費〕
- 〔1〕勤労者住宅資金融資預託金の積算内容について
- 〔商工費〕
- 〔1〕元気な商店街づくり検討委員会（仮称）の内容について
- 〔2〕商店街街路路灯電気料補助金の内容について
- 〔土木費〕
- 〔1〕木造住宅耐震診断改修補助事業の内容について
- 〔2〕道路、公園、緑化推進の各関係環境整備委託料の積算内容について
- 〔3〕道路補修事業及び道路新設改良事業の事業計画について



- 〔4〕蕨駅エレベーター設置事業の事業内容について
- 〔5〕中央第一土地区画整理事業見直し事業の内訳について
- 〔6〕駅西口市街地再開発事業の積算内容について
- 〔7〕錦町・中央第一土地区画整理事業の繰出金の積算根拠について
- 〔消防費〕
- 〔1〕消防・救急活動の事業内容について
- 〔2〕災害予防対策事業の事業内容について
- 〔教育費〕
- 〔1〕特別支援教育支援員事業の事業内容について
- 〔2〕幼稚園児補助金の予算内訳について
- 〔3〕小中学校耐震補強事業の内容と今後の事業計画について
- 〔4〕図書整備事業（小中学校）の内容について
- 〔5〕放課後子ども教室推進事業の内容について
- 〔6〕給食調理等業務委託料の委託効果額について

【一般質問】

高橋 悦朗議員

- 〔質〕自治体の会計改革について、総務省は、すべての地方自治体に対し、国に準拠した財務諸表の作成を求める方針を固め、1番に貸借対照表、2番に行政コスト計算書、3番に資金収支計算書、4番に純資産変動計画書の4財務諸表を人口3万人以上の都市と道府県には3年以内に、その作成、公表するよう求める。そこで、本市における公会計制度の現状と取り組みについて次に、市町村における健全化判断比率の基準値と本市数値について。また、市民への情報公開と、市政の状況をできるだけわかりやすく解説し、財政情報を身近なものとしてまとめられた財政白書の作成に取り組んで頂きたい。
- 〔答〕昨年6月に「財政健全化法」が制定され、健全化の基準となる財政指標の公表や、一般会計と特別会計、第3セクターを連結した財務諸表を作成していくこととなりました。本市における取り組みについては、新年度より庁内研究部会を発足させ、準備してまいります。早期健全化となる基準については、「実質赤字比率」約13%以上、「連結実質赤字比率」約18%以上、「実質公債費比率」25%以上、「将来負担比率」35%以上となっております。情報公開については、決算をベースとして、決算収支や市債残高、財政指標などの情報については、市ホームページでの公表内容の充実を図ってまいります。
- 〔質〕住民基本台帳カードについて、本市の普及状況及び取得後の活用状況。また、その標準システム利用の内容とさらなる多目的利用の検討について。次に、蕨市の住基カード普及のための今後の取り組みについて。
- 〔答〕住基カードの発行状況は、2月末で、1363枚で、全国普及率1.5%を上回る約2%となっております。証明書交付、申請書作成、成人保健、救急活動支援、避難者情報、公共施設予約等の標準システムの導入へ向けて条例の整備が必要となります。カード普及については、さらなる利便性を高め、無料化等も考慮に入れ研究して参りたい。
- 〔質〕市民相談体制の充実について、都市化や高齢化の中で、相続や近隣のトラブル、金銭問題など誰かに聞いてもらいたいことなど市民の苦悩を取り除く「セーフティネット」としての相談体制を整備して頂きたいとの願いから、この問題を提起させて頂きます。本市の相談体制とその件数、そして今後の対応について。



〔答〕多重債務については、専門の相談窓口の検討をしてまいります。相談体制として職員による総合窓口と弁護士や司法書士、女性カウンセラー、行政相談委員、人権擁護委員、税理士等の専門窓口があります。19年12月末で39件があり、多様化しております。法テラス等の関係機関の紹介と資料を配布してまいります。

大石 幸一議員

※妊娠健康診査については前掲参照

- 〔質〕4歳児半健診と5歳児健診を比較して現行のままで問題は無いのか
- 〔答〕蕨市ではすでに平成2年度から4歳6か月児健診を実施しており、今年度から1歳6か月児健診・3歳児健診と同様に、4歳6か月児健診時にも心理相談員を配置して発達相談を開始いたしました。また、保健センター内に組織している「蕨市母子保健連絡調整会議」の中で専門分野の医師等からご意見をいただき、4歳6か月児健診の方が5歳児健診よりも歯科健診、発達相談等が早い時期に受けられることで治療等が早くに進めていけるメリットがあり、また、発達障害等の疑いが認められる児については、両親との関わりを密にしながら就学時への準備時間に余裕があるため、現行の年齢で実施していく考えです。
- 〔質〕軽易な119番通報と救急患者受け入れ拒否問題の現状を鑑みて解決策を何か行政として考えているか
- 〔答〕軽易な119番通報につきましては、近年における救急出場の増加傾向を鑑みまして、市民の皆様に対し、緊急性のないけがや病気に際して、タクシーがわりに使われないなど救急車の適正利用について、広報機会を通じて啓発に努めておるところであります。また、救急患者受け入れ拒否問題につきましては、両市の市長をはじめ、行政・医師会・保健所・病院長・消防機関で構成される蕨・戸田地区救急医療対策協議会において、救急医療体制の整備促進及び関係機関との連絡調整を図っておるところであります。
- 〔質〕給食の食材の確保はどのようにしているのか
- 〔答〕学校給食においては、安全な食材の確保を一つの重要な問題として捉え、食材の購入・管理から調理における衛生面に細心の注意をもって取り組んでいるところがあります。当市が学校給食で使用している食材については、従来より、安全である国産の食材を使用することを基本としております。
- 〔質〕本市では、現場の教師はどのような教育者が望ましいと考えているか
- 〔答〕教育委員会といたしましては、「心身共に健康で、指導力が高く、心豊かな教師」の育成を目指し、さらに、新たな課題にも前向きに取り組む意欲にあふれた、実践力のある教師を育てるなど、教師の資質向上のための指導を、継続してまいりたいと考えております。
- 〔質〕退職された教師の力を借りて、学校現場の強化を図る考えはないか
- 〔答〕教育委員会といたしましては、現在さまざまな形で、退職された教師の力を活用しております。まず、60歳で定年退職した教員の、再任用であります。埼玉県の制度を利用し、本年度、再任用教員として2名が小学校で通常勤務しております。長年の経験を生かし、充実した指導が期待できることから、来年度はさらに3名を再任用する予定でございます。

